

1 平成 21 年度 普通会計決算状況(総括)

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成 21 年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	61	138

2 決算規模

平成 21 年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成 21 年度(A)	平成 20 年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,069,353	1,002,308	106.7
歳 出	1,033,826	959,163	107.8
差 引	35,526	43,145	82.3

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成 21 年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、355 億2千6百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源 76 億7千万円を差引いた実質収支は 278 億5千6百万円の黒字で、前年度と比べて 10 億7千9百万円増加した。

イ 実質収支をみると、138 の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ2億3百万円増加し、10 億4千万円の黒字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて 24 億5百万円増加し、114 億9千1百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は 98 億5千万円で前年度と比べて 28 億2千万円増加し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は 70 億 8 千7百万円で前年度と比べて6億2百万円増加した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は 64 億8千 6 百万円で前年度と比べて 12 億2千万円増加した。